

4月の人事異動、勤め人には必要不可欠な出来事。希望の職場？行きたくなかった職場？色々ありますが、どちらにしろ半月過ぎ新たな職場はいかがですか？これから数年、新たな職場の職員と共に過ごしていくことになります。いろいろな人達とふれあい、様々な経験をへて一段と成長していく可能性があります。せっかくですので楽しく、各職員と協力して、よりよい仕事をめざしながら自分の糧にしたいものです。

大田区~~~~~現地~~~~~大田区

3月11日福島県郡山市で行われた「原発いらない！福島県民大集会」（県民大集会実行委員会主催、福島民報社・福島民友両新聞社後援）に参加し、その後相馬市に向かいました。

5月12日（土）に大田区民センターで行なう「相馬の漁師さんとの交流会」の打ち合わせと避難区域の南相馬市小高小から児童の音楽鑑賞会の協力依頼があり、その開催のための打ち合わせと会場の下見をしてきました。

☆漁師さんとの打ち合わせに、奥さん方も初めて来てくれました。

※船を出した2日目の夜に仙台港方面に明かりがあり（石油タンクが燃えていた）、尾浜地区（相馬市）では2箇所火が出ていた。

※海に出た時に津波の黒い波が見えた。仙台よりも10~20分ぐらい遅かったようだ。自分が船を出した10分ぐらい後の人はほとんど亡くなった。

※11日の地震後海に出て、12日の朝にいったん帰ってきて家を見に行ったら。地獄を見るようだった。

また津波が来るというので再び海に船を出し、13日の朝に戻ってきた。

※海にはガレキ（屋根の残骸や保冷車等）が浮かんでおり真直ぐに走れなかった。

※福島県では大型・小型船あわせて500艘あったが2/3は津波でやられた。残っている船は150~160艘程度。相馬市では468名亡くなった。

※明るいうちに津波が来たのは不幸中の幸いと思う。夜になっていれば被害者はもっと多くなっていた。

※地震はすごく長かった。一度すとんと落ちてから3分間？5分間？揺れた。何回も繰り返してきた。

※福島の漁民は宮城県の漁業権を買っている。過去、高いときで4000万円ぐらい。欲しい人がいなくなれば安くなる。今では200~300万円ぐらいか。

※漁業権を買わないで漁をすると密漁として捕まり罰金が非常に高額になるため、他県で漁をする人は年2~3ヶ月程度の操業だけを持っている（青森から千葉まで許可書を持っている人もいる）。

※震災後変わったことは、男たちは海のガレキ撤去（早朝に出て昼前に戻る）。女達は朝から夕方まで田んぼ等のガレキ撤去。時間があるので、男たちは以前は家事などを一切しなかったが、今ではやるようになって



【宿泊場所の栄荘（漁師さん夫婦との打ち合わせ）】



【宿泊場所の栄荘から相馬港を見る、ガレキは撤去したが→いる。これはよいことだと奥さん方の発言あり。

打ち合わせの最後に、大田区での「交流会」では今話されたような内容を話していただければとお願いをした。また今回参加する人は男4人だと言われていたが、男だけでは糸の切れた凧のようなから、私達も一緒に参加すると奥さん方の意見で決まり、4夫婦参加となりました。

☆**今回の音楽鑑賞会**は南相馬市の原発による放射能汚染が高い地域(避難区域)の小高小学校から、今までPTAの会費で音楽鑑賞会を実施していたが、児童があちらこちらに避難しPTAが機能しなくなっている。実施できればありがたいとの相談があり、ボランティアの会が後援をするものです。



【音楽鑑賞会の会場 南相馬市鹿島区 さくらホール】

この間連絡を取っていた金谷先生を3月12日に訪問。飯塚校長も入り打ち合わせをおこないました。その結果、現在(3月中)鹿島小学校に間借りをしているが4月からは鹿島中学校のプレハブ校舎に移転が決定しており、金房小・鳩原小(いずれも避難区域の小高地区の小学校)も同時にプレハブ校舎での授業となるため、3校合同の音楽鑑賞会となることになりました。また会場も学校の体育館ではなく、音楽ホール(さくらホール)で実施することになりました。

翌日には相馬市の「はまなす館」での「雨あがれ! FUKUSIMA」のコンサートも相馬市との共催で実施することになりました。

☆ これまでの活動報告

あしなが育英会に累積10万円寄付
(あしなが育英会募金駅頭活動に参加)
昨年被災地での活動 4回

☆ これからの活動予定

4月21日(土) AM10:00~PM6:00

蒲田駅頭あしなが育英会募金活動 **(参加者募集: 当日2時間程度協力していただける方連絡を)**

よもやま話 : ある市のことですが、今年3月に職員約800名のところ退職者120名程度と大量に出た。この理由は? 途中退職、それも若い人たちが多く。放射能の心配からというのは理解できるが、ほとんどの人は割の合わない仕事として、やめていく。公務員も地震・津波や原発の被害者なのに、住民からは仕事があつて金ももらえるとねたまれる。国や東電などの業務の見舞金や避難区域の線引きなどでも、非難される。小さな町なので、うさを払おうと飲みに行っても、誰だれとわかり後でそのことを言われる。家族も素性がわかるため常に監視されている様な状態。こんな所にいられないと、町から出て行く。住民が文句を言う気持ちや理由はわかるのだが。これが現実と寂しそうに話していた。

復興に向けて中心となる職員が減っていくことで、これからの行政運営の難しさを感じました。

☆私達ボランティアの会は、職員で構成されており自分達で出来ることを検討しながら、長期に渡って支援していこうと考えて活動しています。

☆活動に興味ある方・入会を希望する方、連絡をお待ちしています。(月・水には会員が組合事務所をお借りして常駐しています。会費無料、会則なし、会員には様々な情報をお送ります。)

◎連絡先 大田区職員労働組合気付(ご協力いただいでいて連絡先となっています)

大田区職員東日本大震災ボランティアの会(通称 グループ・ボラボラ)

相馬の漁師さんとの交流会

「どっこい!生きてやる」

日時 5月12日(土)

PM3:00~5:00頃まで

会場 大田区民センター

5階 第9会議室

《一部》

相馬港を襲う津波のDVD鑑賞

《二部》

漁師さんの話を聞く

◎船を出した漁師さん

◎船を出さなかった漁師さん

◎それぞれの奥さん方の話

◎仮設住宅での生活 等々

質疑応答

これからの活動について

(試食品あり)